

所沢市 D X 推進実行計画 (令和7年度版)

デジタル戦略課



所沢市D X推進実行計画 趣旨と位置づけ

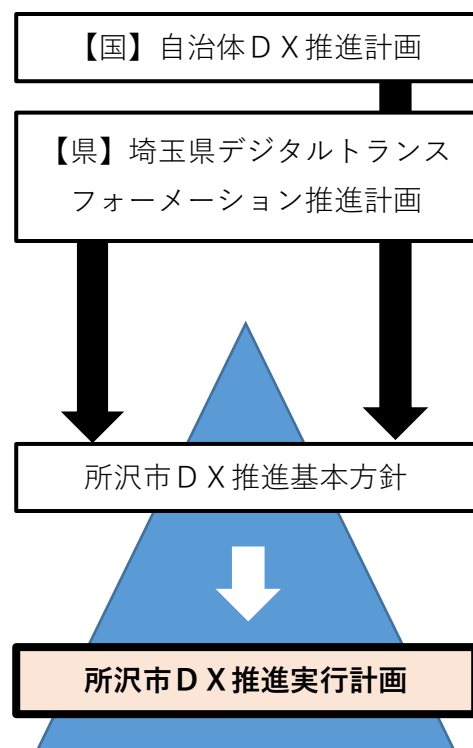
「所沢市D X推進基本方針」に掲げるビジョンや中間目標（下表参照）の進捗管理を図るために策定するものです。

本市が行う事業のうち、D Xに関する事業を抜粋してリスト化しています。

計画は「一覧表」と「個票」から構成し、必要に応じて随時内容を更新していきます。

D X推進状況を把握することで、具体的なアクション・改善につなげていきます。

本計画は「所沢市D X推進基本方針」を上位計画として位置づけています。



ビジョン 「人にやさしいデジタルが暮らしに浸透したまち」

テーマ① 暮らしやすさUP

中間目標	1-1	行政手続や問い合わせ、相談が簡単にできる
	1-2	自分のニーズに合った情報を簡単に受け取ることができる
	1-3	様々な手段で決済ができる
	1-4	市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができる

テーマ② まちの活力UP

中間目標	2-1	誰でも市政やまちづくりへ容易に参加できる
	2-2	多くの産業の分野でデジタル技術の導入が進んでいる
	2-3	地域活性化や市民生活に必要な情報の可視化ができている
	2-4	すべての市民に情報活用力を高める機会がある

テーマ③ 行政サービス力UP

中間目標	3-1	市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができる
	3-2	客観的な証拠に基づく政策立案ができている
	3-3	職員が自己の持つ能力を最大限に発揮できている
	3-4	安全・安心な行政サービスを維持できている

所沢市DX推進実行計画（一覧表）

				予算額（千円）・スケジュール			
No.	事業名	事業概要	関連する 中間目標	R4	R5	R6	R7
1	行政手続のオンライン化推進事業	マイナポータルからマイナンバーカードを用いてオンライン手続ができる体制を整備する	1-1	23,588	—	—	—
				導入	—	—	—
2	税系システム改修事業 （軽自動車税関係手続電子化対応）	軽自動車税関係手続の電子化に対応するためのシステム改修	1-1	3,747	—	—	—
				改修	—	—	—
3	マイナンバーカード交付予約システム更新事業	マイナンバーカードの交付（受け取り）を円滑化するシステムの更新	1-1	—	4,290	—	—
				—	更新・運用	—	—
4	戸籍システム改修事業（戸籍事務内連携稼働支援）	戸籍データを行政機関間で連携するサーバを安定稼働させるための改修	1-1	—	1,410	—	—
				—	改修	—	—
5	出産・子育て応援事業（経済的支援）	出産・子育て応援ギフト（電子マネー）の申請・支給にLINEを活用する	1-1	—	1,172	1,568	1,964
			1-2	—	導入・運用	➡	終了
6	公共施設予約システム等更新事業	操作性等の更なる利便性向上を実現するためのシステム更新	1-1	—	—	48,822	19,615
			1-4	—	—	更新・運用	➡
7	住民異動受付支援システム構築事業	何度も同じ情報を記載する手間を省く「書かない窓口」を実現するシステム構築	1-1	69,665	—	—	—
			1-4	導入	—	—	—
8	住民記録システム等改修事業（国外転出者のマイナンバーカード等利用対応）	国外転出者によるマイナンバーカード等の利用を実現するためのシステム改修	1-1	4,456	—	—	—
			1-4	改修	—	—	—
9	戸籍システム改修事業 （市町村間戸籍情報連携対応）	国及び市町村と戸籍データのやりとりを行うためのシステム改修	1-1	15,827	—	—	—
			1-4	改修	—	—	—
10	住民基本台帳ネットワークシステム等改修事業（国外転出者のマイナンバーカード等利用対応）	国外転出者によるマイナンバーカード等の利用を実現するためのシステム改修	1-1	—	8,516	—	—
			1-4	—	改修	—	—
11	生活保護システム改修事業（オンライン資格確認対応）	医療機関がオンラインで資格確認できるようにするための改修	1-1	—	4,999	—	—
			1-4 2-2	—	改修・運用	—	—

所沢市DX推進実行計画（一覧表）

No.	事業名	事業概要	関連する 中間目標	予算額（千円）・スケジュール			
				R4	R5	R6	R7
12	第9期図書館電算システム再構築事業	リース期間満了に伴う、更なる利用者サービス向上のためのシステム更新	1-1	—	58,512	—	—
			3-1	—	更新	—	—
13	市民向けメール配信システム改修事業（LINE連携）	メールマガジンで配信している内容をLINEでも受け取れるようにする	1-2	—	2,794	1,452	1,650
				—	改修・運用	➡	➡
14	建築形態規制情報のG I S搭載事業	建築形態規制情報を所沢市地理情報システムに都市計画情報として追加で搭載する	1-2	902	—	—	—
			1-4	実施	—	—	—
15	防災ガイド・避難所マップデジタル化事業	紙資源の節減と多言語化のため、防災ガイド・避難所マップをデジタル化する	1-2	—	550	495	495
			1-4	—	導入・運用	➡	➡
16	所沢市議会 I C T 化推進事業（マイクシステム導入）	明瞭性の高いマイクシステムを導入し、会議録作成事務の省力化と速やかな公開を図る	1-2	—	802	880	880
			3-1	—	導入・運用	➡	➡
17	ホームページ作成システム導入事業	学校のホームページ作成システムを統一する	1-2	—	4,535	3,043	1,659
			3-4	—	導入・運用	➡	➡
18	税系システム改修事業（地方税共通納税システムの対象税目拡充対応）	地方税共通納税システムの対象に追加された税目の電子納付を可能にするシステム改修	1-3	7,581	—	—	—
				改修	—	—	—
19	統合端末等増設事業（個人番号カード交付体制拡充対応）	マイナンバーカードの交付体制整備のため、機器を増設する	1-4	19,161	—	—	—
				導入	—	—	—
20	市議会インターネット中継事業（字幕機能追加）	ライブ中継画面にA Iを活用したリアルタイム字幕を自動的に表示する機能を導入する	1-4	462	—	—	—
				導入	—	—	—
21	対話支援システム導入事業	円滑なコミュニケーションのため、音声クリアにする対話支援システムを導入する	1-4	16,187	—	—	—
				導入	—	—	—
22	公式動画手話・字幕充実事業	公式動画に手話・字幕を設定し、誰もが同一内容を同一時点で取得できるようにする	1-4	—	2,077	2,790	2,872
				—	運用	➡	➡

所沢市DX推進実行計画（一覧表）

No.	事業名	事業概要	関連する 中間目標	予算額（千円）・スケジュール			
				R4	R5	R6	R7
23	税系システム改修事業（特別徴収税額通知（納税義務者用）の電子化対応分）	eLTAXを経由して特別徴収義務者に税額通知を送付するための改修	1-4	—	3,147	—	—
				—	改修	—	—
24	避難行動要支援者支援システム改修事業	最新の洪水ハザードマップを取り込み、よりリスクの高い避難行動要支援者を把握する	1-4 3-2	—	396	—	—
				—	改修	—	—
25	所沢産さといも 元気掘り起し事業	さといもの安定した生産と品質向上のため、スマート農業活用経費に対して補助を行う	2-2	11,250	7,000	3,050	—
				運用	➡	終了	—
26	建築基準法に基づく道路台帳情報のGIS化事業	紙媒体で管理していた道路台帳を電子化する	2-3	—	2,938	6,014	—
				—	実施	完了	—
27	ICT支援員配置事業	急速に学校ICT化を進めるため、ICT支援員を学校へ配置する	2-4	54,833	65,737	—	—
				導入	完了	—	—
28	AI音声テキスト化推進事業	AIを活用して音声データをテキスト化し、手入力作業を省くことで事務の効率化を図る	3-1	1,520	—	—	—
				導入・運用	—	—	—
29	全庁ネットワーク無線化調査事業	全庁ネットワークの無線化に向け、導入対象となる施設の事前調査を実施する	3-1	1,392	—	—	—
				実施	—	—	—
30	AI等技術推進事業	AI等の新技術等により、業務効率化及び企画立案等の業務に集中できる体制を整備する	3-1	6,159	9,098	9,821	11,246
				運用	➡	➡	➡
31	住民基本台帳ネットワークシステム改修事業（システム標準化対応）	現行システムで使用している外字を標準準拠システムに対応した文字に移行させる	3-1	3,685	—	—	—
				改修	—	—	—
32	業務改善プラットフォーム活用事業	専門知識が不要なアプリ作成ツールを活用し、業務効率化を推進する	3-1	—	4,278	—	—
				—	導入	—	—
33	Web版住宅地図活用事業	事務の効率化と紙資源の節減のため、住宅地図のクラウドサービスを活用する	3-1	—	264	317	317
				—	導入・運用	➡	➡

所沢市DX推進実行計画（一覧表）

No.	事業名	事業概要	関連する 中間目標	予算額（千円）・スケジュール			
				R4	R5	R6	R7
34	税系システム改修事業（市県民税特別徴収分納入済通知書の電子化）	金融機関から送付される収納情報を電子データで受け取るための改修	3-1	—	1,467	—	—
				—	改修・運用	—	—
35	介護認定業務DX化事業	タブレット端末を活用した訪問調査、認定審査会のオンライン化を行う	3-1	—	8,368	3,922	5,248
				—	導入・運用	➡	➡
36	文書管理システム導入事業	公文書管理を紙媒体から電子化する	3-1	—	—	47,175	—
			3-3	—	—	導入	—
37	財務会計システム更新事業（総務部所管分）	契約管理システムを財務会計システムに包含する形で更新し、利便性を向上させる	3-1	—	—	58,991	—
			3-3	—	—	更新	—
38	財務会計システム更新事業（財務部所管分）	更新に伴い、文書管理システムと一体的な運用を可能にする	3-1	—	—	66,417	—
			3-3	—	—	更新	—
39	給水装置リモート検査事業	給水装置工事検査の一部をリモートで実施する	3-1	—	743	276	276
			3-3	—	導入・運用	➡	➡
40	例規システム運用管理委託事業	例規集の管理と法令集の閲覧をシステム化し、情報公開と業務効率化を図る	2-3	1,290	2,079	2,079	2,079
			3-2	更新・運用	➡	➡	➡
41	クレジットカード決済導入事業	水道料金・下水道使用料の支払いをキャッシュレス化する	1-3	—	13,572	3,078	6,297
				—	導入・運用	➡	➡
42	キャッシュレス決済導入事業	住民票発行などの手数料支払いをキャッシュレス化する	1-3	954	954	1,188	1,188
				運用	➡	➡	➡
43	無線LANアクセスポイント整備事業	アクセスポイントを設置することで、ペーパーレス会議を実現する	3-1	—	1,176	—	—
				—	導入	—	—
44	住民記録システム等改修事業（転出・転入手続ワンストップ化対応）	マイナポータルからマイナンバーカードを用いてオンライン転出・転入を可能にする	1-1	10,900	—	—	—
			1-4	改修	—	—	—

所沢市DX推進実行計画（一覧表）

No.	事業名	事業概要	関連する 中間目標	予算額（千円）・スケジュール			
				R4	R5	R6	R7
45	税系システム改修事業(地方税共通納税システムの対象税目拡充対応)	eLTAXで納付できる税目を拡大するためのシステム改修	1-3	—	—	2,222	—
				—	—	改修	—
46	公立保育園等給食管理システム更新事業	複雑化する献立作成等の業務を迅速かつ正確に行い、業務の効率化を図るためのシステム改修	3-1	—	—	3,735	—
				—	—	更新	—
47	ところバスロケーションシステム導入	GPS等を利用してバスの運行状況や到着予定時刻を利用者のスマホ等に知らせるシステムの導	2-2	—	—	9,281	989
			2-3	—	—	導入・運用	➡
48	医療情報システム更新事業	オンライン予約・問診、電子カルテ等の導入	1-1	—	—	9,460	314,380
			3-1	—	—	更新	更新・運用
49	農地基本台帳及び農地地図情報システム改修事業	農地情報のインターネット公開に向けて国のシステムと連携させるためのシステム更新	2-3	—	—	4,063	—
				—	—	更新	—
50	郷土資料等収蔵施設整備事業	収蔵施設の整備検討にあわせ資料管理のデジタル化を実施	1-4	—	—	2,038	8,124
			2-3	—	—	導入・運用	➡
51	電子書籍整備事業	電子書籍を整備し、試行的な電子図書館サービスを実施	1-4	—	—	1,021	3,317
				—	—	導入・運用	➡
52	教育委員会・保護者間連絡ツール導入事業	ペーパーレスの推進及び情報伝達の即時性向上を図る	1-2	—	—	879	1,055
				—	—	導入・運用	➡
53	情報システム標準化対応事業（ガバメントクラウド接続環境構築）	ガバメントクラウドを利用するために必要な環境構築・動作検証等の実施	3-1	—	—	64,658	54,648
				—	—	改修	完了
54	情報システム標準化対応事業（税系システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	53,611	54,379
				—	—	改修	完了
55	情報システム標準化対応事業（税系システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	28,324	28,575
				—	—	改修	完了

所沢市DX推進実行計画（一覧表）

No.	事業名	事業概要	関連する 中間目標	予算額（千円）・スケジュール			
				R4	R5	R6	R7
56	情報システム標準化対応事業（税系システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	67,525	53,468
				—	—	改修	完了
57	情報システム標準化対応事業（税系システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	32,690	55,658
				—	—	改修	完了
58	情報システム標準化対応事業（戸籍システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	—	—
				—	—	—	—
59	情報システム標準化対応事業（住民記録システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	—	—
				—	—	—	—
60	情報システム標準化対応事業（生活保護システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	—	—
				—	—	—	—
61	情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	510	1,356
				—	—	改修	完了
62	情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	4,733	9,900
				—	—	改修	完了
63	情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	510	1,356
				—	—	改修	完了
64	情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	255	822
				—	—	改修	完了
65	情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	346	651
				—	—	改修	完了
66	情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	12,234	25,006
				—	—	改修	完了

所沢市DX推進実行計画（一覧表）

No.	事業名	事業概要	関連する 中間目標	予算額（千円）・スケジュール			
				R4	R5	R6	R7
67	情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	3,459	6,510
				—	—	改修	完了
68	情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	11,760	22,132
				—	—	改修	完了
69	情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	3,459	6,510
				—	—	改修	完了
70	情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	2,422	4,557
				—	—	改修	完了
71	情報システム標準化対応事業（介護保険システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	54,844	44,220
				—	—	改修	完了
72	情報システム標準化対応事業（後期高齢者医療システム）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	—	—
				—	—	—	—
73	情報システム標準化対応事業（健康管理システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	15,103	121,678	55,597
				—	改修	➡	完了
74	情報システム標準化対応事業（選挙人名簿管理システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	6,827	5,481
				—	—	改修	完了
75	テレワーク環境整備事業	多様な働き方の実現及び非常時の業務継続性確保のため、テレワーク用端末と通信回線を整備	3-3	—	—	1,367	460
			3-4	—	—	導入・運用	➡
76	生成AI導入事業	文書作成事務に生成AIを活用し、業務効率化を図る	3-3	—	165	—	—
				—	導入・運用	—	—
77	DX人材育成研修	全職員がDXを共通理解し、必要な知識等を習得して能力を高めるための研修機会を提供する	3-2	3,212	2,665	1,993	2,033
			3-3	➡	➡	➡	➡

所沢市DX推進実行計画（一覧表）

No.	事業名	事業概要	関連する 中間目標	予算額（千円）・スケジュール			
				R4	R5	R6	R7
78	公民つながるプロジェクト推進事業	公共で行う様々な事業に民間事業者からの支援をつなぐことを目的とする	2-1	—	813	392	342
				—	実施	➡	➡
79	富岡シニアスマホ学園	学生ボランティアがシニア世代にスマホの使い方を教える相談会	1-4	—	—	0	0
			2-4	—	—	実施	➡
80	ガバメントクラウドネットワーク運用管理事業	安定的な基幹系業務システムの稼働のためのオブジェクトストレージの運用管理	3-1	—	—	—	32,961
				—	—	—	導入・運用
81	情報システム標準化対応事業（統合宛名・共通基盤システム分）	標準準拠システムへの移行及びガバメントクラウドへのデータ移行	3-1	—	—	—	45,971
				—	—	—	改修・完了
82	全庁ネットワーク及び統合仮想化基盤更新事業	全庁ネットワークの安定的な運用の維持および無線化を実施	3-1	—	—	—	74,098
			3-3	—	—	—	更新・運用
83	税系システム改修事業（コンビニ交付システム標準化関連改修対応）	税系システムの標準準拠システム移行後もコンビニ等で課税証明書を取得できるようにする	3-1	—	—	—	3,300
				—	—	—	改修・完了
84	住民記録システム改修事業（標準化に伴う過渡期連携対応）	標準準拠システムへの移行が遅れることによる他システムとの連携のための改修	3-1	—	—	—	20,228
				—	—	—	改修・完了
85	情報システム標準化等に伴う住民異動受付支援システム改修事業	全国の住民記録システム標準化に伴い必要な「書かない窓口」システム改修と新端末へのイ	3-1	—	—	—	5,896
				—	—	—	改修・完了
86	情報システム標準化に伴うコンビニ交付システム改修事業	全国の住民記録システム標準化に伴い必要な「書かない窓口」システム改修と新端末へのイ	3-1	—	—	—	21,472
				—	—	—	改修・完了
87	障害福祉業務総合支援ソフト導入事業	障害福祉サービスの利用者情報と事業者からの請求情報の審査を簡便化し正確性を向上させる	3-1	—	—	—	1,770
				—	—	—	導入
88	情報システム標準化に伴う放課後児童クラブ管理システム改修事業	税系システムの標準準拠システム移行に伴う改修	3-1	—	—	—	5,050
				—	—	—	改修・完了

所沢市DX推進実行計画（一覧表）

No.	事業名	事業概要	関連する 中間目標	予算額（千円）・スケジュール			
				R4	R5	R6	R7
89	情報システム標準化に伴う避難行動 要支援者支援システム改修事業	介護保険システム及び福祉総合システムの標準 準拠システム移行に伴う改修	3-1	—	—	—	—
				—	—	—	—
90	デジタル同報系防災行政無線システム 更新事業	システム安定稼働のための機器更新とほと とメール等の情報自動配信機能追加による機能強	1-2	—	—	—	98,298
			3-4	—	—	—	更新・運用
91	後期高齢者医療システム改修事業 （標準化に伴う過渡期連携対応）	標準準拠システムへの移行が遅れることによる 他システムとの連携のための改修	3-1	—	—	—	3,921
				—	—	—	改修
92	管網管理クラウドシステム構築事業	漏水事故等に迅速に対応するため、配管図デー タをクラウド化し携帯端末で確認する	3-4	—	—	—	3,135
				—	—	—	導入・運用
93	所沢市議会ICT化推進事業（会議シス テム構築事業）	議案等のペーパーレス化	3-1	—	—	—	1,490
				—	—	—	導入

所沢市DX推進実行計画 進捗状況まとめ

■ 令和7年度版において

更新に伴い、15事業を新たに追加掲載しました。
 詳細は、一覧表のNo.79以降の事業をご確認ください。
 令和4～6年度は事業の執行状況、
 令和7年度は事業予定を掲載しています。

■ 今後に向けて

- ・ いずれの中間目標にも、対応する事業が実施されています。
- ・ 今後も着実にDXを推進していきます。

■ 中間目標にぶら下がる事業数

テーマ① 暮らしやすさUP

			目標ごとの事業数	内、R7版で追加した事業数
中間目標	1-1	行政手続や問い合わせ、相談が簡単にできる	14	0
	1-2	自分のニーズに合った情報を簡単に受け取ることができる	8	1
	1-3	様々な手段で決済ができる	4	0
	1-4	市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができています	18	1

テーマ② まちの活力UP

中間目標	2-1	誰でも市政やまちづくりへ容易に参加できる	1	0
	2-2	多くの産業の分野でデジタル技術の導入が進んでいる	3	0
	2-3	地域活性化や市民生活に必要な情報の可視化ができています	5	0
	2-4	すべての市民に情報活用力を高める機会がある	2	1

テーマ③ 行政サービス力UP

中間目標	3-1	市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができています	48	12
	3-2	客観的な証拠に基づく政策立案ができています	3	0
	3-3	職員が自己の持つ能力を最大限に発揮できています	7	1
	3-4	安全・安心な行政サービスを維持できています	4	2

※ひとつの事業が複数の中間目標をカバーしていることもあるため、実際の事業数と目標ごとの事業数合計で乖離があります。

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

1

行政手続のオンライン化推進事業

所管

デジタル戦略課・市民課

事業概要 目的・理由

本事業は、国（総務省）が策定した自治体DX推進計画に基づき、子育て・介護分野の主要手続について、マイナポータル（国運営のオンラインサービスポータルサイト）からマイナンバーカードを用いてオンライン手続ができる体制を整備し、もって市民の利便性向上に資するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	23,588	—	—	—
決算額	23,122	—	—	—
スケジュール	導入	—	—	—

R7年度までの 取組概要

R4年度にシステムを導入した。

関連する 中間目標

1-1

行政手続や問い合わせ、相談が簡単にできる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

2

税系システム改修事業（軽自動車税関係手続電子化対応）

所管

市民税課

事業概要 目的・理由

本事業は、全国的な軽自動車税関係手続の電子化へ対応するため、税系システムの改修を行うものである。

軽自動車検査協会では、新車新規検査のオンライン申請開始に合わせ、軽自動車税申告・検査情報の提供及び継続検査時に必要な軽自動車税種別割の納付確認を電子化することになった。

これに伴い、申告・検査情報を取り込む機能、納税情報を提供する機能を追加するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	3,747	—	—	—
決算額	3,699	—	—	—
スケジュール	改修	—	—	—

R7年度までの 取組概要

R4年度に改修を行った。

関連する 中間目標

1-1

行政手続や問い合わせ、相談が簡単にできる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

3

マイナンバーカード交付予約システム更新事業

所管

市民課

事業概要 目的・理由

本事業は、マイナンバーカードの受取に来庁する市民が事前にインターネット上で受取の予約を行うことで、交付に伴う事前準備や窓口来庁者数の把握管理など、カードの交付予約管理を効率的に行うものである。
令和5年6月末に現行システムの契約期間が終了することに伴い、システムの更新及び見直しを図るものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	4,290	—	—
決算額	—	4,290	—	—
スケジュール	—	更新・運用	—	—

R7年度までの 取組概要

R5年度に更新を行い、安定的な運用を図った。

関連する 中間目標

1-1

行政手続や問い合わせ、相談が簡単にできる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

4

戸籍システム改修事業（戸籍事務内連携稼働支援）

所管

市民課

事業概要 目的・理由

令和元年5月に行われた戸籍法の一部改正により、国民がマイナンバー制度を利用することにより行政機関等において行う手続の際に戸籍謄本等の添付が不要となること、本籍地以外での戸籍証明書の発行を可能とすること等、国民の利便性向上を図るための所要の措置が講じられることとなった。このため、国は関係する行政機関の間で必要データの受渡しを行う戸籍事務内連携サーバを令和4年度に設置し、連携を開始する。

本事業は、国から随時発出される改修内容に合わせ、戸籍システムを改修し、「戸籍事務内連携サーバ」の安定稼働を支援するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	1,410	—	—
決算額	—	1,408	—	—
スケジュール	—	改修	—	—

R7年度までの 取組概要

R5年度に改修を行った。

関連する 中間目標

1-1

行政手続や問い合わせ、相談が簡単にできる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

5

出産・子育て応援事業（経済的支援）

所管

こども政策課

事業概要 目的・理由

出産・子育て応援事業については、全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じる伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯等に対して、出産育児関連用品の購入等の負担軽減を図るための経済的支援を一体的に実施するものである。

このうち本事業は、妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯等に対する経済的な支援として、出産応援ギフト、子育て応援ギフトを支給するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	1,172	1,568	1,964
決算額	—	1,172	1,538	
スケジュール	—	導入・運用	➡	終了

R7年度までの 取組概要

妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯等に対する経済的な支援として、出産応援ギフト、子育て応援ギフトを支給する際の案内をLINEを通じて行う。

関連する 中間目標

- | | |
|-----|----------------------------|
| 1-1 | 行政手続や問い合わせ、相談が簡単にできる |
| 1-2 | 自分のニーズに合った情報を簡単に受け取ることができる |
| | |

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

6

公共施設予約システム等更新事業

所管

スポーツ振興課

事業概要 目的・理由

本事業は、公共施設予約システムについて、システムを更新し、操作性等に関して、利用者の利便性向上や更なる円滑化を図るものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	48,822	19,615
決算額	—	—	48,808	
スケジュール	—	—	更新・運用	➡

R7年度までの 取組概要

R6年度にシステム更新を行い、安定的な運用を図る。

関連する 中間目標

- | | |
|-----|-------------------------|
| 1-1 | 行政手続や問い合わせ、相談が簡単にできる |
| 1-4 | 市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができる |
| | |

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

7

住民異動受付支援システム構築事業

所管

市民課

事業概要 目的・理由

本事業は、転入・転出をはじめとする各種住民異動届出及び異動に伴い必要となる庁内の各種手続について、届出人が持参した書類に記載された情報や市が保有する情報を活用し、申請書類をシステム上で作成できるようにすることで、各種届出に係る1人当たりの所要時間の短縮、記載台の縮小に伴う待ちスペース拡充を実現し、密接・密集を回避するとともに、届出人が何度も同じ情報を記載する手間を省く、いわゆる「書かない窓口」を実現するためのシステムを構築するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	69,665	—	—	—
決算額	63,439	—	—	—
スケジュール	導入	—	—	—

R7年度までの 取組概要

R4年度にシステムを導入し、運用を開始した。

関連する 中間目標

- | | |
|-----|-------------------------|
| 1-1 | 行政手続や問い合わせ、相談が簡単にできる |
| 1-4 | 市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができる |
| | |

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

8

住民記録システム等改修事業（国外転出者のマイナンバーカード等利用対応）

所管

市民課

事業概要 目的・理由

本事業は、住民基本台帳法及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が一部改正（令和元年5月公布）されたことに伴い、国外転出者による個人番号カード等の利用を実現するため、令和3年度に引き続き、住民記録システム・住民基本台帳ネットワークシステム・戸籍システムの改修を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	4,456	—	—	—
決算額	4,367	—	—	—
スケジュール	改修	—	—	—

R7年度までの 取組概要

R4年度に改修を行った。

関連する 中間目標

- | | |
|-----|-------------------------|
| 1-1 | 行政手続や問い合わせ、相談が簡単にできる |
| 1-4 | 市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができる |
| | |

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

9

戸籍システム改修事業（市町村間戸籍情報連携対応）

所管

市民課

事業概要 目的・理由

令和元年5月に行われた戸籍法の一部改正により、国民がマイナンバー制度を利用することにより行政機関等において行う手続の際に戸籍謄本等の添付が不要となること、本籍地以外での戸籍証明書の発行を可能とすること等、国民の利便性向上を図るための所要の措置が講じられることとなった。

本事業は、各市町村が国及び市町村間とデータのやりとりを行うため、国が全国の市町村に「戸籍事務内連携サーバ」を設置することに伴い、戸籍システムの改修を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	15,827	—	—	—
決算額	14,630	—	—	—
スケジュール	改修	—	—	—

R7年度までの 取組概要

R4年度に改修を行った。

関連する 中間目標

- | | |
|-----|-------------------------|
| 1-1 | 行政手続や問い合わせ、相談が簡単にできる |
| 1-4 | 市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができる |
| | |

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

10

住民基本台帳ネットワークシステム等改修事業（国外転出者のマイナンバーカード等利用対応）

所管

市民課

事業概要 目的・理由

本事業は、住民基本台帳法及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が一部改正（令和元年5月公布）されたことに伴い、国外転出者によるマイナンバーカード等の利用を実現するため、令和4年度に引き続き、住民基本台帳ネットワークシステム・戸籍システムの改修を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	8,516	—	—
決算額	—	8,492	—	—
スケジュール	—	改修	—	—

R7年度までの 取組概要

R5年度に改修を行った。

関連する 中間目標

- | | |
|-----|-------------------------|
| 1-1 | 行政手続や問い合わせ、相談が簡単にできる |
| 1-4 | 市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができる |
| | |

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

11

生活保護システム改修事業（オンライン資格確認対応）

所管

生活福祉課

事業概要 目的・理由

オンライン資格確認システムは、読取端末が導入された医療機関等において、健康保険証がなくてもマイナンバーカードにより受診できる仕組みで、令和3年3月から運用が開始されている。現在、生活保護受給者は、医療機関等に医療券・調剤券を提出したうえで受診しているが、医療機関等がオンラインで資格を確認できるようにするものである。

本事業は、令和3年10月14日付け厚生労働省事務連絡により要請があったことから、生活保護システム内で個人番号の管理を行い、統合専用端末を導入するために必要な改修を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	4,999	—	—
決算額	—	4,394	—	—
スケジュール	—	改修・運用	—	—

R7年度までの 取組概要

R5年度に改修を行い、安定的な運用を図った。

関連する 中間目標

- | | |
|-----|---------------------------|
| 1-1 | 行政手続や問い合わせ、相談が簡単にできる |
| 1-4 | 市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができている |
| 2-2 | 多くの産業の分野でデジタル技術の導入が進んでいる |

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

12

第9期図書館電算システム再構築事業

所管

所沢図書館

事業概要 目的・理由

図書館電算システムは、これまで資料の予約・貸出・返却、レファレンス、利用者登録、資料の発注・受入れ、他図書館との相互貸借、蔵書点検など、利用者サービスの向上及び効率的な蔵書管理を図るための役割を果たしてきた。

本事業は、令和6年2月のリース期間満了に伴い、システムを再構築し、セキュリティの強化及び安定的なシステム運用とともに、更なる利用者サービスの向上を図るものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	58,512	—	—
決算額	—	53,081	—	—
スケジュール	—	更新	—	—

R7年度までの 取組概要

図書館システムの安定的なシステム運用により、更なる利用者サービスの向上を図る。

関連する 中間目標

1-1

行政手続や問い合わせ、相談が簡単にできる

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 13

市民向けメール配信システム改修事業（LINE連携）

所管 広報課

事業概要 目的・理由

本事業は、幅広い世代で利用されている所沢市公式LINEアカウントを市政情報の発信に活用するため、市民向けメール配信システムを改修し、LINEでも情報を受け取れるようにするものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	2,794	1,452	1,650
決算額	—	2,794	1,452	
スケジュール	—	改修・運用	→	→

R7年度までの 取組概要

R5年度に改修を行い、安定的な運用を図る。

関連する 中間目標

1-2 自分のニーズに合った情報を簡単に受け取ることができる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 14

建築形態規制情報のG I S 搭載事業

所管 建築指導課

事業概要 目的・理由

本事業は、紙媒体で対応している建築形態規制情報を所沢市地理情報システム(公開型G I S) に都市計画情報として追加で搭載するものである。
現在、建築形態規制の区域などに関する窓口や電話等による問合せについては、情報を書き込んだ住宅地図を使って対応しているが、市ホームページから利用できる公開型G I Sでの閲覧を可能にすることにより、市民の利便性を高めるとともに、職員の負担軽減を図るものである。

(単位：千円)

	R4	R5	R6	R7
予算額	902	—	—	—
決算額	879	—	—	—
スケジュール	実施	—	—	—

R7年度までの 取組概要

R4年度に搭載作業を実施した。

関連する 中間目標

1-2	自分のニーズに合った情報を簡単に受け取ることができる
1-4	市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

15

防災ガイド・避難所マップデジタル化事業

所管

危機管理室

事業概要 目的・理由

市民の防災に関する理解を深め、防災意識の高揚を図ることを目的として作成した防災ガイド・避難所マップについて、多言語化の要望への対応や発行部数を削減するため、スマートフォンやインターネットで閲覧できるようデジタル化を行う。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	550	495	495
決算額	—	509	495	
スケジュール	—	導入・運用	➡	➡

R7年度までの 取組概要

R5年度に導入し、安定的な運用を図る。

関連する 中間目標

1-2 自分のニーズに合った情報を簡単に受け取ることができる
1-4 市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 16

所沢市議会 ICT化推進事業（マイクシステム導入）

所管 議会事務局

事業概要 目的・理由

本事業は、高音質で音声録音機能を持った議員及び職員専用のマイクシステムを導入し、議会運営の合理化及び効率化を推進するとともに、議員及び職員の新型コロナウイルス等の感染リスクの軽減を図るものである。

また、明瞭性の高いマイクシステムを導入することにより、AI音声テキスト化サービスの利用による会議録作成事務の省力化と速やかな会議録の公開が可能となるなど、「所沢市議会 ICT化推進基本計画」に基づく議会活動の積極的な展開を図るとともに、市民にとって分かりやすい議会運営に資するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	802	880	880
決算額	—	733	880	
スケジュール	—	導入・運用	→	→

R7年度までの 取組概要

R5年度にシステムを導入し、安定的な運用を図る。

関連する 中間目標

1-2	自分のニーズに合った情報を簡単に受け取ることができる
3-1	市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

17

ホームページ作成システム導入事業

所管

教育センター

事業概要 目的・理由

本事業は、現在、各校において専用ソフトや独自システムを利用してホームページを作成しているが、クラウド版のホームページ作成システムを導入し統一することで、分かりやすい情報提供を迅速に地域住民や保護者に行うものである。コンテンツの作成や更新作業に関して、専門知識や技術を持たない職員でも容易に利活用でき、情報が伝わりやすいシステムを導入する。また、システムを統一することで、情報セキュリティの統一的な管理ができるとともに、耐震かつ情報セキュリティに万全なデータセンターを使用し、24時間365日安定した運用及び情報提供を可能とする。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	4,535	3,043	1,659
決算額	—	4,535	3,043	
スケジュール	—	導入・運用	→	→

R7年度までの 取組概要

R5年度に導入し、安定的な運用を図る。

関連する 中間目標

1-2	自分のニーズに合った情報を簡単に受け取ることができる
3-4	安全・安心な行政サービスを維持できている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 18

税系システム改修事業（地方税共通納税システムの対象税目拡充対応）

所管 収税課

事業概要 目的・理由

地方税共同機構が提供、運用している地方税共通納税システムについて、令和3年度税制改正の大綱において、対象税目の追加及び追加税目の電子納付に向けた所要の措置を令和5年度課税分を目途に講ずるよう提示された。
上記方針に対応すべく、関連システムの改修、運用テストを行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	7,581	—	—	—
決算額	7,471	—	—	—
スケジュール	改修	—	—	—

R7年度までの 取組概要

R4年度に改修を行った。

関連する 中間目標

1-3 様々な手段で決済ができる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

19

統合端末等増設事業（個人番号カード交付体制拡充対応）

所管

市民課

事業概要 目的・理由

個人番号カードの交付については、令和2年度に実施された定額給付金の支給やマイナポイント制度開始に伴い申請が急増したことから、交付ブースを増設して対応してきた。

国の計画では、令和4年度末までにほとんどの住民がカードを取得する想定であり、その前提でさらなる交付体制整備が求められているところである。

本事業は、今後、更なる増加が見込まれる交付事務に対応するため、機器を増設するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	19,161	—	—	—
決算額	17,840	—	—	—
スケジュール	導入	—	—	—

R7年度までの 取組概要

R4年度に機器を増設した。

関連する 中間目標

1-4

市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

20

市議会インターネット中継事業（字幕機能追加）

所管

議会事務局

事業概要 目的・理由

本事業は、積極的に議会活動を情報発信し、市民の市政参加を促すことを目的に実施している市議会本会議のインターネット中継（ライブ・録画中継）のうち、ライブ中継画面において、AIによる音声認識を活用したリアルタイム字幕を自動的に表示する機能を導入することで、情報アクセシビリティの向上を推進するとともに、正確で分かりやすい議会情報の発信についての充実を図るものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	462	—	—	—
決算額	462	—	—	—
スケジュール	導入	—	—	—

R7年度までの 取組概要

R4年度に機能を導入し、R5年度以降も運用を継続する。

関連する 中間目標

1-4

市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

21

対話支援システム導入事業

所管

市民課

事業概要 目的・理由

コロナ禍においては、感染対策としてマスクの着用や窓口における身体的距離の確保・パーティションの設置などで、高齢者や障害者には日常的に会話が聞き取りづらい環境下にある。

本事業は、窓口手続など、市民との円滑なコミュニケーションを支援するため、音声をクリアにする指向性の高い対話支援システムを導入し、市民サービスの向上につなげるものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	16,187	—	—	—
決算額	15,301	—	—	—
スケジュール	導入	—	—	—

R7年度までの 取組概要

R4年度に機器を設置した。

関連する 中間目標

1-4

市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

22

公式動画手話・字幕充実事業

所管

広報課

事業概要 目的・理由

本事業は、市が公式動画として一般に広く公開する動画に対し、手話表示や字幕表示を設定する作業を行い、聴覚に障害のある人も含め、誰もが同一内容の情報を同一時点で取得できるようにするものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	2,077	2,790	2,872
決算額	—	1,963	2,751	
スケジュール	—	運用	→	→

R7年度までの 取組概要

R5年度に事業を開始し、安定的な運用を図る。

関連する 中間目標

1-4

市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 23

税系システム改修事業（特別徴収税額通知（納税義務者用）の電子化対応分）

所管 市民税課

事業概要 目的・理由

本事業は、地方税法改正に伴う特別徴収税額通知（納税義務者用）の電子化へ対応するため、税系システムの改修を行うものである。

令和3年度税制改正において、令和6年度分から個人住民税の特別徴収税額通知の電子化が義務化されることとなった。

これに伴い、eLTAXを経由して特別徴収義務者に税額通知を送付できるよう、eLTAXのレイアウトに沿ったデータを出力する機能を、本システムに追加するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	3,147	—	—
決算額	—	3,123	—	—
スケジュール	—	改修	—	—

R7年度までの 取組概要

R5年度に改修を行った。

関連する 中間目標

1-4 市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 24

避難行動要支援者支援システム改修事業

所管 危機管理室

事業概要 目的・理由

災害対策基本法により、災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障害者等の要配慮者から避難行動要支援者を抽出し、名簿化を行っている。
警察、消防、自治会・町内会、民生委員等の支援者へ情報提供を行う際、よりリスクの高い避難行動要支援者を把握できるよう、令和4年3月に更新された所沢市洪水ハザードマップをシステムに取り込み、円滑な避難誘導及び対象者の安全確保を図るものである。避難行動要支援者の個別避難計画の作成においても、よりリスクの高い要支援者を優先して作成する等、システムの有効的な活用が見込めることから、改修を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	396	—	—
決算額	—	385	—	—
スケジュール	—	改修	—	—

R7年度までの 取組概要

R5年度に改修を行った。

関連する 中間目標

1-4 市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができる
3-2 客観的な証拠に基づく政策立案ができる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

25

所沢産さといも 元気掘り起し事業

所管

農業振興課

事業概要 目的・理由

本市のブランド品であるさといもは、全国でもトップレベルの生産量と品質を誇り、市場でも大変高い評価を得ているが、近年の記録的な暑さや豪雨等の影響のほか、病気の発生等により安定した収穫量を維持することが難しくなると危惧されている。

このことから、安定した生産と品質向上を目指すため、農業者等が取り組む生産性又は品質向上に要する資材、研修会等の経費のほか、スマート農業活用経費に対して補助を行うものである。

スマート農業活用経費（1団体当たり上限30万円、補助率3/4）

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	11,250	7,000	3,050	—
決算額	2,262	1,822	1,897	—
スケジュール	運用	➡	終了	—

R7年度までの 取組概要

令和4年度から所沢産さといも元気掘り起し事業の一環としてスマート農業技術活用経費に対して補助を行っている。さといも以外の農産物への活用も検討した結果、所沢産さといも元気掘り起し事業はR6年度で終了とし、R7年度以降は別の補助金制度に統合した。

関連する 中間目標

2-2

多くの産業の分野でデジタル技術の導入が進んでいる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 26

建築基準法に基づく道路台帳情報のG I S 化事業

所管 建築指導課

事業概要 目的・理由

平成22年に施行された改正建築基準法では、市（特定行政庁）は道路台帳を整備することとされており、本市は昭和50年代に作成した道路情報を書き込んだ約1,300枚の公図を台帳と位置付けている。
この公図には、約1,400km以上の道路と750件以上の情報が書き込まれているため、情報資産の保護、業務効率化及び市民サービスの向上を目的として、電子化を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	2,938	6,014	—
決算額	—	2,937	6,014	—
スケジュール	—	実施	完了	—

R7年度までの 取組概要

R5年度からR6年度にかけてGISデータ化を行う。

関連する 中間目標

2-3 地域活性化や市民生活に必要な情報の可視化ができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 27

ＩＣＴ支援員配置事業

所管 教育センター

事業概要 目的・理由

本市では、子どもたちの学びを保障できる環境を早急に実現するため、令和2年度からGIGAスクール構想におけるＩＣＴ環境整備を加速しているが、学校の人的体制は十分とは言えない状況である。

本事業は、ＩＣＴインフラの有効活用と教員の負担軽減を図るため、令和4年度に学校に配置したＩＣＴ支援員について、令和5年度においても、継続して配置するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	54,833	65,737	—	—
決算額	54,833	65,736	—	—
スケジュール	導入	完了	—	—

R7年度までの 取組概要

R4年度に支援員を配置した。

R5年度においても、継続して配置したものである。

R6年度以降の配置は無し。

関連する 中間目標

2-4 すべての市民に情報活用力を高める機会がある

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 28

A I 音声テキスト化推進事業

所管 デジタル戦略課

事業概要 目的・理由

本事業はA I等の技術を活用し音声データをテキストデータ化することにより、手入力作業を省くことで、事務の効率化を図るものである。
セキュリティレベルの高いLGWAN上で提供されるサービスを、埼玉県的主导により県内市町村で共同利用する。
なお、埼玉県内での共同利用はR3年度より始まっており、本市はR4年度より参加した。
なお、R5年度よりNo.30「A I等技術推進事業」に統合。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	1,520	No.30「A I等技術推進事業」に統合		
決算額	1,507			
スケジュール	導入・運用	→	→	→

R7年度までの 取組概要

R4年度にシステムを導入し、利用を推進した。
R5年度以降は利用状況を注視しながら、安定的な稼働を目指す。
なお利用にあたっては、業務プロセスの見直しを意識する。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

29

全庁ネットワーク無線化調査事業

所管

デジタル戦略課

事業概要
目的・理由

全庁ネットワークの無線化に向け、導入対象となる施設の事前調査を実施するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	1,392	—	—	—
決算額	1,320	—	—	—
スケジュール	実施	—	—	—

R7年度までの
取組概要

R4年度に調査を実施し、R5年度以降の無線化検討の基礎資料とする。

関連する
中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

30

A I 等技術推進事業

所管

デジタル戦略課

事業概要 目的・理由

人口減少及び高齢化の中にあって質の高い行政サービスを維持していくため、A I 等の新技術等を活用して職員が行う作業を自動化することにより、業務効率化及び企画立案等の業務に集中できる体制を推進するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	6,159	9,098	9,821	11,246
決算額	5,222	8,871	9,766	
スケジュール	運用	→	→	→

R7年度までの 取組概要

導入済みのA I ・ R P A を安定的に運用するとともに、利用範囲を拡大していく。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

31

住民基本台帳ネットワークシステム改修事業（システム標準化対応）

所管

市民課

事業概要 目的・理由

本事業は、令和3年9月1日の地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、庁内基幹系システムを令和7年度までに標準準拠システムへ移行するに当たり、現行システムで使用している外字を標準準拠システムに対応した文字（文字情報基盤文字）に移行させるための事前作業を実施するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	3,685	—	—	—
決算額	3,630	—	—	—
スケジュール	改修	—	—	—

R7年度までの 取組概要

R4年度に改修を行った。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

32

業務改善プラットフォーム活用事業

所管

デジタル戦略課

事業概要 目的・理由

本事業は、専門知識が不要で簡単に業務アプリを作成できる「クラウド型業務改善プラットフォーム」を活用することで、業務効率化を進め、企画立案等の業務に集中できる体制の推進を図るものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	4,278	—	—
決算額	—	3,588	—	—
スケジュール	—	導入	—	—

R7年度までの 取組概要

R5年度に導入し、安定的な運用を図るとともに、幅広い分野で活用が進むように支援を行う。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 33

Web版住宅地図活用事業

所管 デジタル戦略課

事業概要 目的・理由

本事業は、多くの所属で購入している「ゼンリン住宅地図」の冊子について、Web版及びL G W A N - A S P（セキュリティレベルの高い自治体間ネットワーク上で提供されるサービス）を利用することで利便性を高め、事務の効率化、経費の節減及び紙資源の削減を図るものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	264	317	317
決算額	—	264	317	
スケジュール	—	導入・運用	→	→

R7年度までの 取組概要

R5年度に導入し、安定的な運用を図る。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

34

税系システム改修事業（市県民税特別徴収分納入済通知書の電子化）

所管

収税課

事業概要 目的・理由

本事業は、市県民税（特別徴収分）の一部収納分について、収納した金融機関から送付される収納情報を電子データで受け取るため、税系システムの改修を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	1,467	—	—
決算額	—	1,461	—	—
スケジュール	—	改修・運用	—	—

R7年度までの 取組概要

R5年度に改修を行い、安定的な運用を図る。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

35

介護認定業務D X化事業

所管

介護保険課

事業概要 目的・理由

本事業は、要支援・要介護度の判定を行う一連の介護認定業務において、タブレット端末を活用した訪問調査への移行、認定審査会のオンライン化推進など、デジタル技術によって業務の在り方を見直すことで、認定申請数の増大による結果判定所用日数への影響を最小限に抑え続ける環境を構築し、市民サービスの維持・向上を目指すものである。

併せて、審査会に伴う自動車利用の低減により、ゼロカーボンシティの推進も図るものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	8,368	3,922	5,248
決算額	—	7,771	3,393	
スケジュール	—	導入・運用	→	→

R7年度までの 取組概要

R5年度に導入し、安定的な運用を図る。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

36

文書管理システム導入事業

所管

文書行政課

事業概要 目的・理由

本事業は、紙媒体で行っている文書の収受、起案、決裁、保存、廃棄等を文書管理システムを導入し電子データで行うことにより、公文書の適正管理や内部事務の効率化等を更に推進するものである。

また、システム導入により、所沢市DX推進基本方針の重点テーマの一つである「行政サービス力UP」の実現を目指すものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	47,175	—
決算額	—	—	47,175	—
スケジュール	—	—	導入	—

R7年度までの 取組概要

R6年度にシステムを導入した（R6.10.1～運用開始）。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

3-3

職員が自己の持つ能力を最大限に発揮できている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

37

財務会計システム更新事業（総務部所管分）

所管

契約課

事業概要 目的・理由

本事業は、平成24年度から導入している契約管理システムを更新するものである。本システムは、所沢市の競争入札参加資格者名簿の管理や物品購入及び工事請負等の執行準備から契約締結、また工事請負においてはその完成検査結果及び支払の管理を行っている。

本システムは、平成29年度に開発業者が撤退して以来、システムのメンテナンスに困難が生じていることから、更新を行うものである。

財務会計システムの更新に合わせ、当該システムに包含されるシステムとすることにより、利便性の向上も図るものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	58,991	—
決算額	—	—	40,462	—
スケジュール	—	—	更新	—

R7年度までの 取組概要

R6年度にシステムを更新する。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

3-3

職員が自己の持つ能力を最大限に発揮できている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 38

財務会計システム更新事業（財務部所管分）

所管 財政課

事業概要 目的・理由

本事業は、平成19年度から運用している財務会計システムについて、システムのサポート終了に伴い、更新を行うものである。

本システムの更新に当たっては、合わせて導入を予定している文書管理システムとの一体的な運用により、伝票の電子化による紙の削減及び伝票事務の効率化を図る。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	66,417	—
決算額	—	—	66,417	—
スケジュール	—	—	更新	—

R7年度までの 取組概要

R6年度にシステムを更新する。

関連する 中間目標

3-1	市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている
3-3	職員が自己の持つ能力を最大限に発揮できている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

39

給水装置リモート検査事業

所管

窓口サービス課

事業概要 目的・理由

本事業は、職員が現場立会いで行っている給水装置工事検査の一部について、リモート（遠隔）での検査を実施するため、タブレット型端末及びスマートフォンを導入するものである。
これにより、現場への移動時間の削減、局庁舎内での効率的な工事検査の実施及び車両使用の抑制による二酸化炭素の排出削減が見込まれる。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	743	276	276
決算額	—	535	238	
スケジュール	—	導入・運用	→	→

R7年度までの 取組概要

R5年度に導入し、安定的な運用を図る。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

3-3

職員が自己の持つ能力を最大限に発揮できている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

40

例規システム運用管理委託事業

所管

文書行政課

事業概要 目的・理由

この事業は、例規集の管理及び法令集の閲覧をデータベースで行うことにより、法規業務の効率化を図るとともに、システムを通じて例規集をインターネット上で公開することにより、市民等への情報提供を行い、行政サービスの向上につなげるものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	1,290	2,079	2,079	2,079
決算額	1,040	2,079	2,079	
スケジュール	更新・運用	→	→	→

R7年度までの 取組概要

H28.10～R4.9までの例規システム運用委託契約終了したため、R4.10～R9.9まで更新したもの。
R5年度以降は、安定的な稼働を目指す。

関連する 中間目標

2-3	地域活性化や市民生活に必要な情報の可視化ができている
3-2	客観的な証拠に基づく政策立案ができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

41

クレジットカード決済導入事業

所管

窓口サービス課

事業概要 目的・理由

本事業は、水道料金及び下水道使用料の支払におけるキャッシュレス化により、市民の利便性を向上し、デジタル社会の実現に寄与するため、クレジットカード決済を導入するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	13,572	3,078	6,297
決算額	—	13,572	4,443	
スケジュール	—	導入・運用	→	→

R7年度までの 取組概要

R5年度にクレジットカード決済を導入し、運用を開始した。
R6年度以降は導入効果を研究していく。

関連する 中間目標

1-3

様々な手段で決済ができる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

42

キャッシュレス決済導入事業

所管

デジタル戦略課・出納室

事業概要 目的・理由

本事業は、キャッシュレス（クレジットカード、電子マネー、QRコード）決済の社会的な普及を見据え、決済手段の選択肢を増やすことによる市民満足度の一層の向上のために実施するものである。

キャッシュレス決済の導入により、市民の利便性向上、新型コロナウイルス感染症への対策などの効果が期待できる。

導入窓口：市民税課、資産税課、市民相談課、市民課、生活環境課、生涯学習推進センター

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	954	954	1,188	1,188
決算額	954	951	1,188	
スケジュール	運用	→	→	→

R7年度までの 取組概要

R4年度に6窓口での運用を開始し、安定的な稼働を図る。

関連する 中間目標

1-3

様々な手段で決済ができる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

43

無線LANアクセスポイント整備事業

所管

市民医療センター

事業概要 目的・理由

本事業は、会議室を無線でネットワークに接続できる環境とすることで、電子資料の閲覧を可能とし、ペーパーレス会議を実現するものである。
市民医療センターでは、委員会やミーティングなど多数の会議を実施するため、会議資料に膨大な紙を使用していたが、本事業により使用量の削減が見込まれる。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	1,176	—	—
決算額	—	1,135	—	—
スケジュール	—	導入	—	—

R7年度までの 取組概要

R5年度に導入した。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

44

住民記録システム等改修事業（転出・転入手続ワンストップ化対応）

所管

市民課

事業概要 目的・理由

本事業は、住民基本台帳法の一部改正に伴い、マイナポータル（国運営のオンラインサービスポータルサイト）からマイナンバーカードを用いて、オンライン上で転出の届出及び転入予約の手続を可能にするため、住民記録システム・住民基本台帳ネットワークシステムの改修を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	10,900	—	—	—
決算額	10,340	—	—	—
スケジュール	改修	—	—	—

R7年度までの 取組概要

R4年度にシステムを改修した。

関連する 中間目標

1-1

行政手続や問い合わせ、相談が簡単にできる

1-4

市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

45

税系システム改修事業(地方税共通納税システムの対象税目拡充対応)

所管

収税課

事業概要 目的・理由

本事業は、地方税共通納税システムの対象税目を拡大し、納税者が全ての税目をeLTAXを利用して納付できるよう所要の措置を講ずることとした法改正により、以下の改修を行うものである。

【追加対象税目】

・ 市県民税（普通徴収） ・ 国民健康保険税

【改修内容】

・ 追加税目の電子納税を可能にする
・ 2次元コードを活用した納付を可能にする

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	2,222	—
決算額	—	—	2,222	—
スケジュール	—	—	改修	—

R7年度までの 取組概要

R6年度に改修を行う。

R6年度以降は安定的な稼働および、当該電子納付の周知を行う。

関連する 中間目標

1-3

様々な手段で決済ができる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

46

公立保育園等給食管理システム更新事業

所管

保育幼稚園課

事業概要
目的・理由

複雑化する献立作成等の業務を迅速かつ正確に行い、業務の効率化を図ること
とで、栄養士を本来の業務に活かすものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	3,735	—
決算額	—	—	3,733	—
スケジュール	—	—	更新	—

R7年度までの
取組概要

R6年度にシステム更新を行い、移行は安定的な稼働を図る。

関連する
中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 47

ところバスロケーションシステム導入

所管 都市計画課

事業概要 目的・理由

本事業は、GPS等を利用してバスの運行状況や到着予定時刻を利用者のスマートフォン等に知らせるバスロケーションシステムの導入により、利用者及び運行管理者の双方の視点から課題を解消するとともに、ところバスの利便性を向上し、利用者及び収益の増加につなげるものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	9,281	989
決算額	—	—	9,212	
スケジュール	—	—	導入・運用	➡

R7年度までの 取組概要

R6年度に導入し、以降は安定的な稼働を図る。

関連する 中間目標

2-2 多くの産業の分野でデジタル技術の導入が進んでいる
2-3 地域活性化や市民生活に必要な情報の可視化ができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 48

医療情報システム更新事業

所管 市民医療センター総務課

事業概要 目的・理由

医療のデジタル化に対応し、電子カルテの導入などにより業務効率を高めることを目的として、令和6年度と7年度の2か年をかけて更新する。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	9,460	314,380
決算額	—	—	6,534	
スケジュール	—	—	更新	更新・運用

R7年度までの 取組概要

令和6年度は、システム更新にかかわる仕様書の策定、業者選定を行った。
令和7年度は、令和8年3月30日を本番稼働予定としたシステム更新を行い、電子カルテやWeb予約、Web問診等の機能を導入する。

関連する 中間目標

1-1	行政手続や問い合わせ、相談が簡単にできる
3-1	市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 49

農地基本台帳及び農地地図情報システム改修事業

所管 農業委員会事務局

事業概要 目的・理由

本事業は、平成26年10月から導入している農地基本台帳及び農地地図情報システムが令和6年9月にリース期間が満了となることから、現行システムの更新を行うものである。

あわせて、本市の農地基本台帳や農地に関する地図等の農地情報をインターネット上で公表するため、国が運用する農業委員会サポートシステムと当該システムを連携させることにより、利便性の向上を図る。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	4,063	—
決算額	—	—	3,816	—
スケジュール	—	—	更新	—

R7年度までの 取組概要

R6年度にシステム更新を行い、移行は安定的な稼働を図る。

関連する 中間目標

2-3 地域活性化や市民生活に必要な情報の可視化ができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 50

郷土資料等収蔵施設整備事業

所管 文化財保護課

事業概要 目的・理由

本事業は、所沢市が所蔵する郷土資料等を良好な環境で一元管理し後世に継承するため、資料管理のデジタル化や収蔵施設の整備を進めるものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	2,038	8,124
決算額	—	—	1,761	
スケジュール	—	—	導入・運用	➡

R7年度までの 取組概要

R6年度に郷土資料管理システムを導入し、資料管理のデジタル化を進め、以降は安定的な稼働を図る。

関連する 中間目標

1-4	市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができる
2-3	地域活性化や市民生活に必要な情報の可視化ができる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

51

電子書籍整備事業

所管

所沢図書館

事業概要 目的・理由

本事業は、電子図書館サービス（図書館に来館しなくてもサービスを享受できる非来館型サービス）に必要な電子書籍を整備するものである。
インターネット環境があればいつでも利用できるほか、電子書籍特有の機能（文字拡大や日本語読み上げ機能など）やオーディオブックにより、読書困難者を含めた幅広い層に向けた利便性の高い読書環境の整備を図る。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	1,115	2,680
決算額	—	—	1,115	
スケジュール	—	—	導入・運用	→

R7年度までの 取組概要

R6年度4月に試行的な導入を実施し、以降は安定的な稼働を図る。

関連する 中間目標

1-4

市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

52

教育委員会・保護者間連絡ツール導入事業

所管

学校教育課

事業概要
目的・理由

本事業は、教育委員会と保護者を直接つなぐシステムを導入することにより、ペーパーレス化や情報の即時性等を図るものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	879	1,055
決算額	—	—	879	
スケジュール	—	—	導入・運用	➡

R7年度までの
取組概要

R6年度に導入し、移行は安定的な稼働を図る。

関連する
中間目標

1-2

自分のニーズに合った情報を簡単に受け取ることができる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 53

情報システム標準化対応事業（ガバメントクラウド接続環境構築）

所管 デジタル戦略課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。
本事業は、標準準拠システムをガバメントクラウド上で利用できるようにするために必要な環境構築、動作検証等の作業を実施するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	64,658	54,648
決算額	—	—	21,401	
スケジュール	—	—	改修	完了

R7年度までの 取組概要

R6年度からR7年度末にかけて、標準準拠システムへの移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 54

情報システム標準化対応事業（税系システム分）

所管 市民税課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は、標準化対象業務のうち、個人市民税・法人市民税・軽自動車税の業務を行う税系システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータの移行等を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	53,611	54,379
決算額	—	—	53,368	
スケジュール	—	—	改修	完了

R7年度までの 取組概要

R6年度からR7年度末にかけて、標準準拠システムへの移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 55

情報システム標準化対応事業（税系システム分）

所管 資産税

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は、標準化対象業務のうち、固定資産税の業務を行う税系システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータの移行等を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	28,324	28,575
決算額	—	—	28,324	
スケジュール	—	—	改修	完了

R7年度までの 取組概要

R6年度からR7年度末にかけて、標準準拠システムへの移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1 市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 56

情報システム標準化対応事業（税系システム分）

所管 収税課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は、標準化対象業務のうち、総合収納管理・総合滞納管理の業務を行う税系システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータの移行等を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	67,525	53,468
決算額	—	—	67,217	
スケジュール	—	—	改修	完了

R7年度までの 取組概要

R6年度からR7年度末にかけて、標準準拠システムへの移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1 市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 57

情報システム標準化対応事業（税系システム分）

所管 国民健康保険課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は、標準化対象業務のうち、国民健康保険税の業務を行う税系システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータの移行等を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	32,690	55,658
決算額	—	—	32,543	
スケジュール	—	—	改修	完了

R7年度までの 取組概要

R6年度からR7年度末にかけて、標準準拠システムへの移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1 市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 58

情報システム標準化対応事業（戸籍システム分）

所管 市民課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は、標準化対象業務のうち、戸籍システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータの移行等を行うものである。ただし、本事業は全国の標準化移行に対応する事業者のリソースひっ迫により、特定移行支援システムとして令和9年度末までに移行するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	—	—
決算額	—	—	—	—
スケジュール	—	—	—	—

R7年度までの 取組概要

全国の標準化移行に対応する事業者のリソースひっ迫により、特定移行支援システムとして令和9年度末までに移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 59

情報システム標準化対応事業（住民記録システム分）

所管 市民課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は、標準化対象業務のうち、住民記録システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータの移行等を行うものである。ただし、本事業は全国の標準化移行に対応する事業者のリソースひっ迫により、特定移行支援システムとして令和9年度末までに移行するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	—	—
決算額	—	—	—	—
スケジュール	—	—	—	—

R7年度までの 取組概要

全国の標準化移行に対応する事業者のリソースひっ迫により、特定移行支援システムとして令和9年度末までに移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1 市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 60

情報システム標準化対応事業（生活保護システム分）

所管 生活福祉課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は、標準化対象業務のうち、生活保護システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータ移行等の準備を行うものである。

ただし、本事業は各自治体の希望する標準化移行時期が令和7年度下旬に集中しており、令和7年度稼働の安全性が担保出来ない状態であることから、特定移行支援システムとして令和9年度末までに移行するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	—	—
決算額	—	—	—	—
スケジュール	—	—	—	—

R7年度までの 取組概要

各自治体の希望する標準化移行時期が令和7年度下旬に集中しており、令和7年度稼働の安全性が担保出来ない状態であるため、特定移行支援システムとして令和8年度末までに移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1 市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

61

情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）

所管

生活福祉課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は標準化対象外業務であるものの、引き続き福祉総合システムで扱う標準化対象業務と一体的に管理することが効率的であることから、関連システムとしてガバメントクラウドへのデータ移行等を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	510	1,356
決算額	—	—	510	
スケジュール	—	—	改修	完了

R7年度までの 取組概要

R6年度からR7年度末にかけて、標準準拠システムの移行とあわせて、データ移行作業等を行う。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 62

情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）

所管 障害福祉課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は、障害者福祉業務を扱う福祉総合システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータ移行等を行うものである。なお、標準化対象外である医療費助成業務等についても、引き続き同じシステムで一体的に管理することが効率的であるため、関連システムとしてデータ移行等を行う。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	4,733	9,900
決算額	—	—	4,691	
スケジュール	—	—	改修	完了

R7年度までの 取組概要

R6年度からR7年度末にかけて、標準準拠システムへの移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 63

情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）

所管 高齢者支援課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は標準化対象外業務であるものの、引き続き福祉総合システムで扱う標準化対象業務と一体的に管理することが効率的であることから、関連システムとしてガバメントクラウドへのデータ移行等を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	510	1,356
決算額	—	—	510	
スケジュール	—	—	改修	完了

R7年度までの 取組概要

R6年度からR7年度末にかけて、標準準拠システムの移行とあわせて、データ移行作業等を行う。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 64

情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）

所管 地域福祉センター

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は標準化対象外業務であるものの、引き続き福祉総合システムで扱う標準化対象業務と一体的に管理することが効率的であることから、関連システムとしてガバメントクラウドへのデータ移行等を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	255	822
決算額	—	—	255	
スケジュール	—	—	改修	完了

R7年度までの 取組概要

R6年度からR7年度末にかけて、標準準拠システムの移行とあわせて、データ移行作業等を行う。

関連する 中間目標

3-1 市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 65

情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）

所管 こども政策課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は、子ども・子育て支援業務を扱う福祉総合システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータ移行等を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	346	651
決算額	—	—	342	
スケジュール	—	—	改修	完了

R7年度までの 取組概要

R6年度からR7年度末にかけて、標準準拠システムへの移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 66

情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）

所管 こども支援課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は、児童手当業務等を扱う福祉総合システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータ移行等を行うものである。なお、標準化対象外である医療費助成業務等についても、引き続き同じシステムで一体的に管理することが効率的であるため、関連システムとしてデータ移行等を行う。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	12,234	27,446
決算額	—	—	12,115	
スケジュール	—	—	改修	完了

R7年度までの 取組概要

R6年度からR7年度末にかけて、標準準拠システムへの移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 67

情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）

所管 こども福祉課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は、障害者福祉業務を扱う福祉総合システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータ移行等を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	3,459	6,510
決算額	—	—	3,417	
スケジュール	—	—	改修	完了

R7年度までの 取組概要

R6年度からR7年度末にかけて、標準準拠システムへの移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1 市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 68

情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）

所管 保育幼稚園課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は、子ども・子育て支援業務を扱う福祉総合システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータ移行等を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	11,760	22,132
決算額	—	—	11,618	
スケジュール	—	—	改修	完了

R7年度までの 取組概要

R6年度からR7年度末にかけて、標準準拠システムへの移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1 市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 69

情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）

所管 健康管理課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は、障害者福祉業務を扱う福祉総合システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータ移行等を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	3,459	6,510
決算額	—	—	3,417	
スケジュール	—	—	改修	完了

R7年度までの 取組概要

R6年度からR7年度末にかけて、標準準拠システムへの移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1 市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

70

情報システム標準化対応事業（福祉総合システム分）

所管

教育総務課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は、就学援助業務を扱う福祉総合システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータ移行等を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	2,422	4,557
決算額	—	—	2,392	
スケジュール	—	—	改修	完了

R7年度までの 取組概要

R6年度からR7年度末にかけて、標準準拠システムへの移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

71

情報システム標準化対応事業（介護保険システム分）

所管

介護保険課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は、標準化対象業務のうち、介護保険システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータの移行等を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	54,844	44,220
決算額	—	—	54,780	
スケジュール	—	—	改修	完了

R7年度までの 取組概要

R6年度からR7年度末にかけて、標準準拠システムへの移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

72

情報システム標準化対応事業（後期高齢者医療システム）

所管

国民健康保険課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は、標準化対象業務のうち、以下の業務を行う後期高齢者医療システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータの移行等を行うものである。ただし、本事業は全国の標準化移行に対応する事業者のリソースひっ迫により、特定移行支援システムとして令和9年度末までに移行するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	—	—
決算額	—	—	—	—
スケジュール	—	—	—	—

R7年度までの 取組概要

全国の標準化移行に対応する事業者のリソースひっ迫により、特定移行支援システムとして令和9年度末までに移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 73

情報システム標準化対応事業（健康管理システム分）

所管 健康管理課

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は、成人保健業務等を扱う健康管理システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータ移行等を行うものである。なお、標準化対象外である検診予約管理業務についても、引き続き同じシステムで一体的に管理することが効率的であるため、関連システムとしてデータ移行等を行う。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	15,103	121,678	55,597
決算額	—	14,684	73,916	
スケジュール	—	改修	➡	完了

R7年度までの 取組概要

R5年度からR7年度末にかけて、標準準拠システムへの移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1 市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

74

情報システム標準化対応事業（選挙人名簿管理システム分）

所管

選挙管理委員会事務局

事業概要 目的・理由

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行に伴い、基幹系情報システムを令和7年度末までに標準化基準に適合した標準準拠システムへ移行することが義務付けられている。

本事業は、標準化対象業務のうち、選挙人名簿管理・期日前不在者投票管理・当日投票管理の業務を行う選挙人名簿管理システムについて、標準準拠システムに移行するとともに、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータの移行等を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	6,827	5,481
決算額	—	—	6,827	
スケジュール	—	—	改修	完了

R7年度までの 取組概要

R6年度からR7年度末にかけて、標準準拠システムへの移行作業を行う。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

75

テレワーク環境整備事業

所管

デジタル戦略課

事業概要 目的・理由

本事業は、業務効率性の向上及び人材確保の観点から、職員の多様な働き方の実現、非常時の業務継続性の確保及び多様な人材が働きやすい環境構築を目的として、テレワーク制度の本格実施に合わせ、リモートアクセス用パソコン及び通信回線を整備するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	1,367	460
決算額	—	—	1,166	
スケジュール	—	—	導入・運用	➡

R7年度までの 取組概要

R6年度に導入し、移行は安定的な稼働を図る。

関連する 中間目標

- | | |
|-----|------------------------|
| 3-3 | 職員が自己の持つ能力を最大限に発揮できている |
| 3-4 | 安全・安心な行政サービスを維持できている |
| | |

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

76

生成AI導入事業

所管

デジタル戦略課

事業概要 目的・理由

本事業は、職員が行う作業の内生成AIの活用が見込まれるものについて、生成AIに作業を補助させることにより、業務効率化及び企画立案等の業務に集中できる体制推進の一助とするものである。
なお、R6年度よりNo.30「A I 等技術推進事業」に統合。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	165	No.30「A I 等技術 推進事業」に統合	
決算額	—	165		
スケジュール	—	導入・運用	→	→

R7年度までの 取組概要

R5年度に導入し、移行は安定的な稼働を図る。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 77

DX人材育成研修

所管 デジタル戦略課・職員課

事業概要 目的・理由

自治体DX推進手順に記載されているとおり、DXの共通理解と機運醸成は継続して実施することで職員に定着し効果を発揮するため、すべての職員がDXの意義を理解し必要な知識や手法を身に付け、能力を高めるための研修機会を提供するものである。（DXの意識づけなど研修ほか、DXに必要な情報セキュリティ、ネットワーク、データ利活用等の研修を含む。）

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	3,212	2,665	1,993	2,033
決算額	2,755	2,526	1,539	
スケジュール	→	→	→	→

R7年度までの 取組概要

すべての職位・職種に対して必要な研修機会を提供していく。

関連する 中間目標

- | | |
|-----|------------------------|
| 3-2 | 客観的な証拠に基づく政策立案ができている |
| 3-3 | 職員が自己の持つ能力を最大限に発揮できている |
| | |

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

78

公民つながるプロジェクト推進事業

所管

経営企画課

事業概要 目的・理由

近年、社会的に企業のCSR（社会貢献）活動が注目され、多くの民間事業者が地域貢献に積極的に取り組んでいる。こうした風潮を好機ととらえ、公共で行う様々な事業に民間事業者からの支援をつなぐことを目的とする。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	813	392	892
決算額	—	349	941	
スケジュール	—	実施	➡	➡

R7年度までの 取組概要

- ・企業版ふるさと納税に係る周知、調整、募集等への対応
- ・協定締結に係る調整
- ・市事業に対する民間事業者との協働に係る調整

関連する 中間目標

2-1

誰でも市政やまちづくりへ容易に参加できる

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

79

富岡シニアスマホ学園

所管

富岡まちづくりセンター

事業概要 目的・理由

デジタルデバイドの解消及び世代間交流による地域振興等を目的として、学生ボランティアがシニア世代にスマホの使い方を教える相談会を開催するもの。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	0	0
決算額	—	—	0	
スケジュール	—	—	実施	➡

R7年度までの 取組概要

富岡まちづくりセンターでの開催に加えて、他のまちづくりセンターでの出張開催も実施している。

関連する 中間目標

- | | |
|-----|-------------------------|
| 1-4 | 市民の誰もがデジタルの恩恵を受けることができる |
| 2-4 | すべての市民に情報活用力を高める機会がある |
| | |

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 80

ガバメントクラウドネットワーク運用管理事業

所管 デジタル戦略課

事業概要 目的・理由

本事業は、システム標準化対応後の各基幹系業務システムが構築されるガバメントクラウドを利用するに当たり、当該領域と本市の全庁ネットワークとの接続領域において、本番環境稼働後（令和8年1月～）のネットワーク管理、通信の監視及び障害対応並びに各基幹系業務システム間のデータ連携を担うオブジェクトストレージ（現行の共通基盤システムと同機能）の運用管理を行うことで、各基幹系業務システムの安定的な稼働を図るものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	—	32,961
決算額	—	—	—	
スケジュール	—	—	—	導入・運用

R7年度までの 取組概要

R7年度に構築・導入し、以降安定的な運用を図る。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

81

情報システム標準化対応事業（統合宛名・共通基盤システム分）

所管

デジタル戦略課

事業概要 目的・理由

本事業は、標準準拠システムへの移行後も、引き続き統合宛名システム及び共通基盤システムが各基幹系情報システムの情報管理及びデータ連携等に対応できるよう、政府共通のクラウドサービスであるガバメントクラウドへのデータ移行等の機能整備を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	—	45,971
決算額	—	—	—	
スケジュール	—	—	—	改修・完了

R7年度までの 取組概要

R7年度末までに、機能整備を行う。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 82

全庁ネットワーク及び統合仮想化基盤更新事業

所管 デジタル戦略課

事業概要 目的・理由

本事業は、老朽化したネットワーク機器を入れ替え安定稼働を図るとともに、業務効率化及び多様化図るためLGWAN接続系ネットワークの無線化を図るものである。

また、各種業務システム(庶務事務システム、グループウェア等)を搭載している統合仮想化基盤を更新するものである。

(単位：千円)

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	—	74,098
決算額	—	—	—	
スケジュール	—	—	—	更新・運用

R7年度までの 取組概要

必要な機器入れ替えなどを実施する。

関連する 中間目標

3-1 市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

3-3 職員が自己の持つ能力を最大限に発揮できている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 83

税系システム改修事業（コンビニ交付システム標準化関連改修対応）

所管 市民税課

事業概要 目的・理由

税系システムの標準準拠システムへの移行後、コンビニ交付システムの標準化までの期間もコンビニ等でマイナンバーカードを利用して市・県民税課税証明書を取得できるように、必要な改修を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	—	3,300
決算額	—	—	—	
スケジュール	—	—	—	改修・完了

R7年度までの 取組概要

R7年度末までに必要な改修を行う。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

84

住民記録システム改修事業（標準化に伴う過渡期連携対応）

所管

市民課

事業概要 目的・理由

事業者より、令和7年度末までに移行を完了させることが困難である旨の報告があったことから、同システムに対し、標準準拠システムに移行する他システムとのデータ連携を行うための改修を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	—	20,228
決算額	—	—	—	
スケジュール	—	—	—	改修・完了

R7年度までの 取組概要

R7年度末までに必要な改修を行う。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 85

情報システム標準化等に伴う住民異動受付支援システム改修事業

所管 市民課

事業概要 目的・理由

住民異動受付支援システムは、令和5年3月に運用を開始した、いわゆる「書かない窓口」を実現するシステムである。

本事業は、同システムを使用している多くの端末が令和7年度に標準化対応等に伴い入替えとなるため、新端末に同システムをインストールするものである。あわせて、住民票等への振り仮名の記載に伴う対応及び全国の住民記録システム標準化に伴い、本システムに対し必要となる改修を実施するものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	—	5,896
決算額	—	—	—	
スケジュール	—	—	—	改修・完了

R7年度までの 取組概要

R7年度末までに必要な改修を行う。

関連する 中間目標

3-1 市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

86

情報システム標準化に伴うコンビニ交付システム改修事業

所管

市民課

事業概要 目的・理由

令和8年1月に税系システムが標準準拠システムに移行することに伴い、引き続きコンビニエンスストア等で市・県民税課税証明書を取得できるようにするため、改修を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	—	21,472
決算額	—	—	—	
スケジュール	—	—	—	改修・完了

R7年度までの 取組概要

R7年度末までに必要な改修を行う。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 87

障害福祉業務総合支援ソフト導入事業

所管 障害福祉課

事業概要 目的・理由

障害児者が利用する障害福祉サービスに係る費用については、国保連のシステムを通して利用者情報と事業者からの請求情報を突合し審査のち給付を行うが、令和6年度報酬改定やサービス利用件数の増加を受け、市における利用者情報の登録・修正事務及び審査事務の煩雑さが増している状況である。
このため、業務支援ソフトを導入し、正確で適正な給付の推進とともに給付に係る事務の負担軽減を図るものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	—	1,770
決算額	—	—	—	
スケジュール	—	—	—	導入

R7年度までの 取組概要

ソフトを導入する。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

88

情報システム標準化に伴う放課後児童クラブ管理システム改修事業

所管

青少年課

事業概要
目的・理由

本事業は、令和7年度中に児童クラブ管理システムの連携元である税系システムが標準化システムに移行することに伴い、適切な運用ができるよう改修を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	—	5,050
決算額	—	—	—	
スケジュール	—	—	—	改修・完了

R7年度までの
取組概要

R7年度末までに必要な改修を行う。

関連する
中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 89

情報システム標準化に伴う避難行動要支援者支援システム改修事業

所管 危機管理室

事業概要 目的・理由

本事業は、令和7年度中に本システムの連携元である介護保険システム及び福祉総合システムが標準準拠システムに移行することに伴い、適切な運用ができるよう改修を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	—	—
決算額	—	—	—	—
スケジュール	—	—	—	—

R7年度までの 取組概要

今回の連携元システムの標準化においては、避難行動要支援者支援システムの改修は不要となったため、改修の時期を見直す。

関連する 中間目標

3-1 市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 90

デジタル同報系防災行政無線システム更新事業

所管 危機管理室

事業概要 目的・理由

本事業は、災害時における市民への情報発信手段であるデジタル同報系防災行政無線システムが耐用年数を経過することから、市役所本庁舎に設置している基地局、操作卓等を更新し、システムの安定稼働を図るものである。あわせて、緊急時の円滑な情報発信のため、市のほっとメール等への情報自動配信機能を追加し、システムの機能強化を図る。

また、令和5年7月の消防庁通知に基づき、ミサイル情報等の国からの情報を受信するJアラート受信機について更新を行う。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	—	98,298
決算額	—	—	—	
スケジュール	—	—	—	更新・運用

R7年度までの 取組概要

R7年度末までに必要な機器更新を行う。

関連する 中間目標

1-2	自分のニーズに合った情報を簡単に受け取ることができる
3-4	安全・安心な行政サービスを維持できている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

91

後期高齢者医療システム改修事業（標準化に伴う過渡期連携対応）

所管

国民健康保険課

事業概要
目的・理由

事業者より、令和7年度末までに移行を完了させることが困難である旨の報告があったことから、同システムに対し、標準準拠システムに移行する他システムとのデータ連携を行うための改修を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	—	3,921
決算額	—	—	—	
スケジュール	—	—	—	改修

R7年度までの
取組概要

R7年度末までに必要な改修を行う。

関連する
中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No.

92

管網管理クラウドシステム構築事業

所管

給水管理課

事業概要 目的・理由

本事業は、365日全ての時間帯で漏水事故等に迅速に対応するため、管網管理システムデータのうち、個人情報を除いた配管図データのみをクラウド化し、スマートフォンで配管図を確認できるようにするものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	—	3,135
決算額	—	—	—	
スケジュール	—	—	—	導入・運用

R7年度までの 取組概要

必要なデータのクラウド化などを行う。

関連する 中間目標

3-4

安全・安心な行政サービスを維持できている

所沢市DX推進実行計画（個票）

No. 93

所沢市議会ICT化推進事業（会議システム構築事業）

所管 議会事務局

事業概要 目的・理由

本事業は、所沢市議会ICT化推進基本計画に基づき、ペーパーレス化の推進を図るため、令和7年度中に会議システムを導入し、議案や議案資料等の議員の閲覧環境の整備を行うものである。

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7
予算額	—	—	—	1,490
決算額	—	—	—	
スケジュール	—	—	—	導入

R7年度までの 取組概要

必要なシステムを導入する。

関連する 中間目標

3-1

市民に寄り添った業務に人員と財源を振り向けることができている